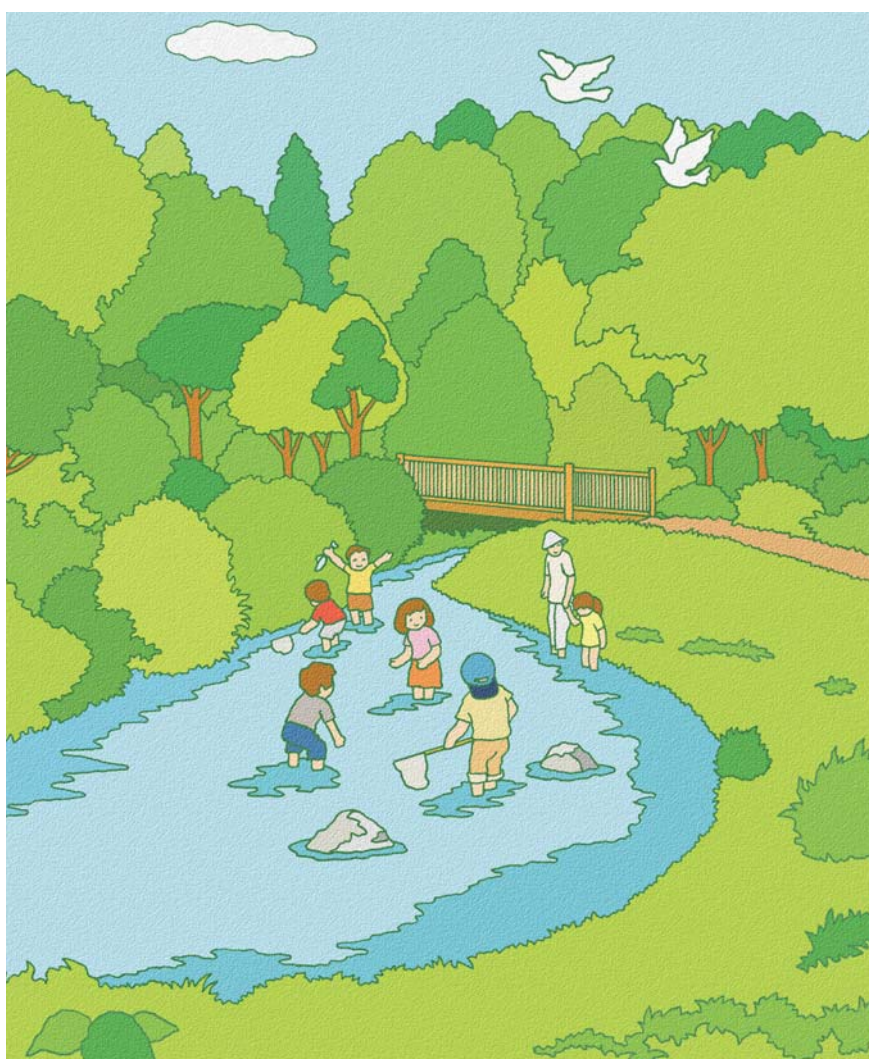


東近江市総合計画^{〔後期〕}

まちづくりの森を育てよう



はじめに

平成19(2007)年3月に東近江市総合計画を策定し、「うるおいとにぎわいのまち東近江市」の実現に向けて、市民のみなさまとともに、様々な取り組みを進めてきました。

しかし、この間、社会経済状況は好転する兆しは見えず、エネルギー問題など新たな課題も生まれてきました。また、平成22年国勢調査において、東近江市の人口は減少に転じ、右肩上がりの成長意識からの脱却が必要となってきています。

このような中、総合計画前期基本計画が平成23年度末で終了することから、東近江市総合計画審議会を設置し、基本構想の時点修正及び後期基本計画の策定について検討いただき、今後の5年間のまちづくりの指針となる総合計画【後期】をまとめました。

審議会では、2度のシンポジウム「東近江百物語」を開催。市内で活躍されている市民団体の活動発表や、市民の力を生かした今後のまちづくりについて討論いただき、市民活動の潜在的パワーを強く感じたところです。

東近江市において、持続可能な行政サービスを提供するには、行財政改革を進めることはもちろんですが、市民とともにまちづくりを行うことで、輝いて生きて、輝いて暮らして、元気になれる、そんな希望の持てる東近江市になると考えています。

本計画の策定にあたり、総合計画審議会委員の皆さまをはじめ、貴重な意見をいただいた市民のみなさまに心からお礼申し上げます。

平成24(2012)年3月



東近江市長

西澤久夫